

## CDP 2017 サプライチェーン気候変動質問書(日本語仮訳)

より多くの国際的企業とそのサプライヤー企業が、CDPを利用して持続可能なサプライチェーン運営を実現しようとしています。国際的企業とそのサプライヤー企業は、CDPサプライチェーンプログラムを通じて、気候変動が国際的なサプライチェーンの枠組みにもたらす大きなリスクを管理しています。

以下は、CDP 2017 サプライチェーン 気候変動質問書です。CDP ウェブサイトのオンライン回答システム(ORS)より質問にご回答ください。ORS では、ドロップダウンメニューや表形式を用いて回答がしやすいようになっているため、本質問書とは質問の表示形式が異なる場合がありますが、質問の内容は同じです。2016年12月よりCDP ウェブサイトに掲載される回答ガイダンスには、選択形式の質問の各選択肢についての解説やORSのスクリーンショットが含まれていますので、回答の際に参考にしてください。

本質問書への回答締切は2017年7月31日です。

ご回答はオンライン回答システム(ORS)より行って頂きます。ORSへのアクセス方法は2017年4月初旬にE-mailでご案内いたします。ORSよりご回答いただけない場合は、respond@cdp.net(英語)、またはjapan@cdp.net(日本語)までご連絡ください。

ご回答の際には、CDP 2017 回答ガイダンスおよび回答評価方法をご覧ください。(www.cdp.net/guidance) またORS上にもガイダンスがございます。ご回答は可能な限り包括的に御社の情報をご提供頂き、完全なご回答が難しいと思われる質問についても、無回答とするのではなく、御社がお持ちの情報の範囲内でご回答頂く方が、投資家にも役立ちます。

ご回答の際には、必要に応じて、世界資源研究所(The World Resources Institute; WRI)と持続可能な開発のための世界経済人会議(The World Business Council for Sustainable Development; WBCSD)が開発した「温室効果ガス(GHG)プロトコル 事業者排出量算定報告基準 改訂版」をご参照ください。(www.ghgprotocol.org) GHGプロトコルの基準によると、社内であれ社外であれ、意思決定を行う者にとって必要な情報が含まれていれば、その情報は本質問でご回答頂きたい必要な情報であると考えられます。

CDP2016 質問書の質問内容から変更になっている質問項目には、質問番号の横に表示しています。

注:本書はCDP2017 気候変動質問書の日本語仮訳となります。英語の質問書に変更があった場合、なるべく早く本書にも反映させるように努力致しますが、英語版の情報を正式なものとしてお取り扱い頂くよう、お願い致します。

### CDP 質問書の著作権およびライセンス利用:

CDP 質問書の著作権は、英国公認慈善事業(No.1122330)であり英国内の保証有限会社(No.05013650)であるCDP Worldwideが有しています。質問書の一部または全部について使用する場合はCDPの許可が必要です。無許可での使用は禁じられており、CDPは著作権保護のためにあらゆる法的措置をとる権利を有しています。

ライセンスの詳細や利用料金についてはlicense@cdp.netまでお問い合わせください。

# イントロダクション

## CC0. イントロダクション

### CC0.1: イントロダクション

御社の一般的な企業情報について記載してください。

### CC0.2: 報告年

報告データがいつの年度のものか、年度の開始日、終了日を記載してください。

### CC0.3: 国リスト

御社の回答に含まれる国をリストから選択してください。

### CC0.4: 貨幣単位

回答に使用する貨幣単位を選択してください。

### CC0.6: セクター別追加質問

セクター別追加質問が表示されていないものの、御社がそのセクターに該当する事業を実施している場合は、こちらで追加質問を設定してください。

## 気候変動管理

### CC1. ガバナンス

#### 企業全体及び社員の責任

CC1.1 御社において気候変動に対する責任を負っている最高機関はどこですか。

“取締役会または取締役や取締役会が指名した個人／委員会 (Board or individual/sub-set of the Board or other committee appointed by the Board)”; “役員／部長レベル (Senior Manager/Officer)”; “その他課長レベル (Other Manager/Officer)”と回答した場合:

CC1.1a 責任を負っている個人の役職名または委員会名を回答してください。

#### 社員のパフォーマンス

CC1.2 GHG 排出目標達成等、社員の気候変動問題に対する管理活動へ何らかのインセンティブを提供していますか。

インセンティブを提供している場合:

CC1.2a 詳細を以下の表に回答してください。

インセンティブを受ける対象者	インセンティブの種類	インセンティブ提供のための評価の指標	コメント

### CC2. 戦略

#### リスク管理手法

CC2.1 気候変動に関するリスクや機会に関するリスク管理手法について、最もあてはまるものを選択してください。

“全社的な多分野に渡るリスク管理手法に統合 (Integrated into multi-disciplinary company-wide risk management processes)”または“気候変動に特化したリスク管理手法 (a specific climate change risk management process)”を選択した場合、CC2.1a-2.1c を回答してください。:

CC2.1a 気候変動リスクや機会の管理手法について詳細を回答してください。

モニタリングの頻度	結果の報告対象	考慮している地域	どの程度の将来のリスクまで考慮しているか	コメント

CC2.1b リスクや機会を特定するプロセスを、どのように全社レベル、および施設・部門レベルに適用していますか。

CC2.1c どのように特定したリスクや機会の優先度合いを決定していますか。

“リスク管理手法がない (There are no documented processes for assessing and managing risks and opportunities from climate change)”を選択した場合:

CC2.1d なぜ、気候変動によるリスクや機会を管理したり評価したりするプロセスを導入していないのか、また将来導入する予定があるか回答してください。

プロセスがない理由	将来導入する予定があるかどうか、	コメント

## 気候変動管理

### 事業戦略

CC2.2 御社の事業戦略の中で気候変動について考慮されていますか。

考慮している場合: CC2.2a 戦略策定プロセス及び戦略の詳細を回答してください。(2016 質問書 CC2.2a 変更)

考慮していない場合: CC2.2b 考慮していない理由を回答してください。

CC2.2c 御社はカーボン・プライシングを導入していますか。(2016 質問書 CC2.2c 変更)

導入している場合: CC2.2d どのように導入しているか、詳細や具体例を記載してください。(2016 質問書 CC2.2d 変更)

### 政策立案者との協働

CC2.3 気候変動政策に対して、直接的または間接的に働きかけを行っていますか。どのような形で協働しているか、以下から当てはまるもの全てを選択してください。

- 政策担当者と直接協働
  業界団体を通して
  調査機関への出資を通して
  その他
  協働していない

“直接関与(Direct engagement with policy makers)”している場合:

CC2.3a どのような政策について協働していますか。

法制度の内容	企業の立場	協働の方法	提案内容

“業界団体を通して(Trade associations)”協働している場合:

CC2.3b 御社は該当する業界団体の理事会メンバーに属していますか、もしくは会費以外に団体に出資していますか。

“はい”の場合: CC2.3c 気候変動政策に関する業界団体の立場について詳細を以下の表に回答してください。

業界団体	気候変動に対する御社の立場は、業界団体の立場と一致していますか。	業界団体の立場について説明してください。	業界団体に対してどのように働きかけていますか。

“調査機関への出資を通して(Funding research organizations)”協働している場合:

CC2.3d 御社が出資している調査機関リストを公表していますか。

“その他(Other)”で協働している場合:

CC2.3e 協働の詳細についてご回答ください。

## 気候変動管理

“直接関与”, “業界団体を通して”, “調査機関への出資を通して” または “その他” を選択した場合:

CC2.3f 政策への直接的または間接的な関与が御社の気候変動戦略と一致しているかどうか、どのようなプロセスで確認していますか。

“協働していない(No)” 場合:

CC2.3g 協働していない理由について回答してください。

### CC3. 排出削減目標及び削減活動

#### 排出削減目標

CC3.1 報告年時点で、御社は排出削減目標または再生可能エネルギー消費/発電目標を設定していますか。(報告年時点で継続中の目標もしくは報告年に完了する目標)

排出削減の総量目標 (absolute target) がある場合:

CC3.1a 総量目標の詳細について回答してください。  
(2016 質問書 CC3.1a 変更)

排出削減の原単位目標 (intensity target) がある場合:

CC3.1b 原単位目標の詳細について回答してください。  
(2016 質問書 CC3.1b 変更)

CC3.1c 以下の表に、排出量総量の変化について回答してください。

CC3.1a、CC3.1b を回答の際には ORS の表に以下の情報をご提供ください。:

- 対象スコープ
- スコープ内における削減目標対象排出量割合 (%)
- 基準年からの削減率 (%)
- 原単位(原単位目標のみ)
- 基準年
- 基準年排出量
- 目標年
- 科学的根拠に基づいた排出削減目標 (Science-Based Target) かどうか
- コメント

目標達成時のスコープ 1+2 排出量総量の変化予測	スコープ 1+2 排出量総量の変化量予測 (%)	目標達成時のスコープ 3 排出量総量の変化予測	スコープ 3 排出量総量の変化量予測 (%)	コメント

再生可能エネルギー消費/発電目標 (renewable energy consumption or production) がある場合:

CC3.1d 御社の直接操業における再生可能エネルギー消費/発電目標の詳細を回答してください。

ID	目標対象のエネルギー種別	基準年	目標対象エネルギー種別の基準年エネルギー量(MWh)	基準年における再生可能エネルギー割合 (%)	目標年	目標年における再生可能エネルギー割合 (%)	コメント

## 気候変動管理

なんらかの目標設定をしている場合:

CC3.1e 報告年における目標達成状況を、全ての目標について以下の表に回答してください。

目標年までの進捗時間割合 (%)	目標達成率 (%)	コメント

目標設定をしていない場合:

CC3.1f (i) 目標を設定していない理由、及び (ii) 今後 5 年間の排出量変化予測について回答してください。

### 排出削減活動

CC3.2 御社の製品やサービスに関して低カーボン製品に分類されるものはありますか。もしくは御社の製品やサービスによって第三者が GHG 排出を直接的に削減できますか。

Yes の場合: CC3.2a 詳細を回答してください。

回答時の製品集約レベル	製品／製品群の詳細	低カーボン製品／第三者のGHG排出削減	低カーボン製品と分類するために使用した方法論、タクソノミー、または第三者のGHG排出削減量の算定方法	報告年における売上高における低カーボン製品の割合 (%)	報告年の研究開発費における低カーボン製品の割合 (%)	コメント

CC3.3 報告年時点で、排出削減活動を実施していますか。(計画段階及び実行段階のものも含みます。)

排出削減活動がある場合、CC3.3a、3.3b、3.3c を回答してください:

CC3.3a 現在計画中や実施中の排出削減活動について、その実施段階別の削減活動プロジェクト数及び推定排出削減量を回答してください。

段階	プロジェクト数	年間の推定排出削減量(tCO <sub>2</sub> e)(*の項目のみ)
調査中		
実施予定*		
実施開始*		
実施完了*		
実施できず		

## 気候変動管理

CC3.3b 排出削減活動の詳細を表に回答してください。

削減活動種別	活動の詳細	年間の排出削減量(tCO <sub>2</sub> e)	スコープ	自主的削減／義務的削減	年間の経費削減額	投資金額	投資回収期間	活動可能期間	コメント

CC3.3c 排出削減活動に対して投資を行うかどうか決定するための方法論を回答してください。

方法論	詳細情報

排出削減活動がない場合： CC3.3d 排出削減活動を実施していない理由を回答してください。

### CC4. コミュニケーション

CC4.1 CDP へのご回答以外で、御社の気候変動対応および GHG 排出量についての情報を公開していますか。公開している場合は該当文書を添付してください。

該当文書	作成状況	該当ページ/章	文書添付	コメント

## 気候変動リスクと機会

### CC5. 気候変動リスク

CC5.1 御社の事業活動や、収支に影響するような、現在または将来における気候変動リスクを特定していますか。当てはまるもの全てを選択してください。

- 規制によるリスク
- 物理的影響によるリスク
- その他のリスク

### CC6. 気候変動による機会

CC6.1 御社の事業活動や、収支に影響するような、現在または将来における気候変動による機会を特定していますか。当てはまるもの全てを選択してください。

- 規制による機会
- 物理的影響による機会
- その他の機会

回答した全てのリスク/機会について、以下に挙げる詳細情報を表に回答してください。:

- リスク/機会要因
- リスク/機会要因の詳細
- リスク/機会の影響
- 影響を受ける時期
- 直接影響/間接影響
- 影響を受ける可能性の程度
- 影響の大きさの程度
- リスク/機会管理活動を行わない場合のリスク/機会による財務影響
- リスク/機会管理の手法
- リスク/機会管理にかかる費用

リスクや機会がないとお考えの場合：事業活動や収支に重要な影響をもたらす可能性のあるリスクや機会がないと考える理由を回答してください。

## 排出量

### CC7. 排出量算定方法

#### 基準年

CC7.1 排出量の基準年と基準年における排出量(スコープ 1、2 排出量)を回答してください。

スコープ 1、2 排出量それぞれについて、ORS の表に以下の情報を回答してください。:

- 基準年
- 基準年におけるスコープ 1 排出量(tCO<sub>2</sub>e)
- 基準年におけるロケーション基準手法に基づくスコープ 2 排出量(tCO<sub>2</sub>e)
- 基準年におけるマーケット基準手法に基づくスコープ 2 排出量(tCO<sub>2</sub>e)

CDP 質問書に初めて回答する企業様は、CC8、9、10 について過去 3 年分のデータをご提供ください。

#### 算定方法

CC7.2 データ収集やスコープ 1、スコープ 2 排出量計算に使用した、基準名やプロトコル名、方法論を選択してください。

“Other”を選択した場合:

CC7.2a データ収集やスコープ 1、スコープ 2 排出量計算に使用した、基準名やプロトコル名、方法論の詳細を回答してください。

CC7.3 適用した温暖化係数とその出典を以下の表に記入してください。

排出ガス種別	出典

CC7.4 適用した排出係数とその出典を以下の表に記入してください。もしくは該当データのエクセルファイルを添付してください。

燃料種別	排出係数	単位	出典

### CC8. 排出量データ

#### バウンダリ

CC8.1 スコープ 1、スコープ 2 排出量報告に関して、御社の報告対象として当てはまるグループを以下から選択してください。

- 財務管理を実施している範囲
- 業務管理を実施している範囲
- 株式所有をしている範囲
- その他

## 排出量

### スコープ 1, 2 排出量

CC8.2 スコープ 1 排出量の総量(単位:tCO<sub>2</sub>e)を回答してください。

CC8.3 スコープ 2 排出量を報告いただく際のアプローチを回答してください。(2016 質問書 CC8.3 変更)

ロケーション基準手法スコープ 2	マーケット基準手法スコープ 2(該当する場合)	コメント

CC8.3a スコープ 2 排出量の総量(単位:tCO<sub>2</sub>e)を回答してください。

ロケーション基準手法スコープ 2	マーケット基準手法スコープ 2(該当する場合)	コメント

CC8.4 スコープ 1、2 排出量のバウンダリから除外される子会社、事業所、施設、特定の GHG、事業活動、地域などがありますか。

ある場合: CC8.4a以下の表に詳細を回答してください。

子会社、事業所等	スコープ 1について	ロケーション基準手法 スコープ 2について	マーケット基準スコープ 2に ついて(該当する場合)	除外理由

### 排出量データの正確性

CC8.5 スコープ 1、2 排出量の値の不確実性はどの程度だと考えられますか。また、御社のデータ収集や、取り扱い、計算における不確実性の主な要因は何ですか。

スコープ	不確実性の程度	不確実性の要因	データの不確実性について詳細を 記述してください。
1			
2(ロケーション基準手法)			
2(マーケット基準手法)			

### 外部検証/保証

CC8.6 スコープ 1 排出量に対する外部検証/保証について回答してください。

## 排出量

スコープ1 排出量について外部検証/保証を受けている場合:

CC8.6a 外部検証/保証の詳細について回答してください。また検証/保証書類を添付してください。

検証/保証サイクル	報告年における検証/保証取得状況	検証/保証の種類	検証/保証書類の添付	該当書類のページ	検証/保証基準	スコープ1 排出量総量のうち、外部検証/保証を受けている割合(%)

スコープ1 排出量について第三者機関による外部検証/保証を受けていないが、規制により経年の排出量管理システム(Continuous Emissions Monitoring Systems; CEMS)の導入を義務付けられている場合:

CC8.6b 御社がCEMS 導入を義務付けられている制度の詳細について回答してください。

制度名	CEMSに該当する排出量割合(%)	対応期間	証明書

CC8.7 スコープ2 排出量に対する外部検証/保証について回答してください。

スコープ2 排出量について外部検証/保証を受けている場合:

CC8.7a 外部検証/保証の詳細について回答してください。また検証/保証書類を添付してください。

ロケーション基準 手法/マーケット基準 手法	検証/保証 サイクル	報告年における 検証/保証 取得状況	検証/保証 の種類	検証/保証 書類の 添付	該当書類 のページ	検証/保証 基準	スコープ2 排出量総量 のうち、外部検証/保証を 受けている割合(%)

CC8.8 CC8.6, 8.7 14.2 で回答している検証排出量以外に外部検証を受けているデータはありますか。

検証を受けているデータ	コメント

### 生物学的炭素固定による CO<sub>2</sub> 排出量

CC8.9 バイオマスやバイオ燃料などによる CO<sub>2</sub> 排出がありますか。

該当排出量がある場合: CC8.9a 排出量(単位:tCO<sub>2</sub>e)を回答してください。

## 排出量

**CC9. スコープ 1 排出量内訳**  
 CC9.1 2カ国以上にスコープ 1 排出源を有していますか。

はいの場合: CC9.1a 以下の表に国別/地域別排出量の詳細を回答してください。

**電気事業セクターに属する企業は、追加質問 EU2 で国別または地域別の排出量を回答してください。**

**石油ガスセクターに属する企業は、追加質問 OG でバリューチェーンの分類ごとの排出量を回答してください。**

**ICT セクターに属する企業は、追加質問で CC9.2d の回答が可能です。**

**食品・飲料・タバコセクターに属する企業は、追加質問で事業活動別の排出量の回答が可能です。**

国/地域名	排出量 (tCO <sub>2</sub> e)

CC9.2 スコープ 1 排出量の内訳として、その他に回答可能な分類方法があれば以下にチェックしてください。

- 業務部門(CC9.2a)
- 施設 (CC9.2b)
- GHG 種類 (CC9.2c)
- 事業活動 (CC9.2d)

チェックした項目について、表に該当する排出量データを回答してください。

**CC10. スコープ 2 排出量内訳**  
 CC10.1 2カ国以上にスコープ 2 排出源を有していますか。

はいの場合: CC10.1a 以下の表に国別/地域別排出量とエネルギー消費量の詳細を回答してください。

**石油ガスセクターに属する企業は、追加質問 OG2 でバリューチェーンの分類ごとの排出量を回答してください。**

**ICT セクターに属する企業は、追加質問で CC10.2c の回答が可能です。**

国/地域名	ロケーション基準手法スコープ 2 排出量 (tCO <sub>2</sub> e)	マーケット基準手法スコープ 2 排出量 (tCO <sub>2</sub> e)	購入及び消費電力、熱、蒸気、冷却量 (MWh)	購入及び消費電力、熱、蒸気、冷却量のうち、低カーボンエネルギー源によるもの (MWh)(CC8.3 のマーケット基準手法スコープ 2 算定に使用しているもの)

CC10.2 スコープ 2 排出量の内訳として、その他に回答可能な分類方法があれば以下にチェックしてください。

- 業務部門 (CC10.2a)
- 施設 (CC10.2b)
- 事業活動 (CC10.2c)

チェックした項目について、表に該当する排出量データを回答してください。

## 排出量

### CC11. エネルギー使用量

CC11.1 事業支出のうちの何%がエネルギー使用によるものですか。

CC11.2 報告年における、熱、蒸気、冷却の購入し消費した量(単位:MWh)を回答してください。

エネルギー種別	MWh
熱	
蒸気	
冷却	

CC11.3 報告年における、(エネルギー目的で使用した)燃料消費量(単位:MWh)を回答してください。

CC11.3a 燃料消費量について、その分類を燃料種類別に回答してください。

燃料種別	MWh

CC11.4 CC8.3 で回答したマーケット基準手法スコープ 2 排出量算定に考慮した低カーボンエネルギーによる電力、熱、蒸気、冷却量について以下に回答してください。(2016 質問書 CC11.4 変更)

低カーボンエネルギーとして適用する根拠	低カーボンエネルギーによる電力、熱、蒸気、冷却量の消費量 (MWh)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> e/MWh)	コメント

CC11.5 報告年における、発電量と電力消費量(単位:MWh)を回答してください。

総電力消費量(MWh)	電力消費量のうち購入した量 (MWh)	総発電量 (MWh)	再生可能エネルギーによる総発電量 (MWh)	自社で発電した再生可能エネルギーによる電力消費量(MWh)	コメント

## 排出量

### CC12. 排出実績

#### 排出履歴

CC12.1 報告年における排出量総量(スコープ 1、2 排出量の合計)の前年との比較について回答してください。

*排出量が増加、または減少、または変わらない場合:*

CC12.1a 排出量変化の要因を特定し、要因別に变化割合を表に回答してください。また変化の理由、変化量の計算方法(計算式)も記載してください。

変化の要因	変化量(%)	変化の増減	変化の理由、変化量の計算方法(計算式)
排出削減活動			
負の投資			
買収			
合併			
生産量の変化			
計算方法の変化			
バウンダリの変化			
業務体系の物理的な変化			
特定していない要因			
その他			

CC12.1b CC12.1、12.1a の回答の根拠となる排出量数値は、ロケーション基準手法スコープ 2 もしくはマーケット基準手法スコープ 2 のどちらを使用していますか。

#### 排出原単位

CC12.2 報告年におけるスコープ 1+2 排出量総量について、売上高に対する原単位を回答してください。

原単位数値	分子単位	分母: 売上高	スコープ 2 算定方法	前年からの変化量(%)	変化の増減	変化の理由
	tCO <sub>2</sub> e	売上高				

## 排出量

CC12.3 報告年におけるスコープ 1+2 排出量総量について、売上高原単位以外の原単位で御社事業に適切なものを回答してください。

原単位 数値	分子 単位	分母 単位	分母 数値	スコープ 2 算定方法	前年からの 変化量(%)	変化の 増減	変化の理由
	tCO <sub>2</sub> e						

**ICT セクターに属する企業は、追加質問での回答が可能です。**

### CC13. 排出量取引

CC13.1 御社は何らかの排出量取引制度に参加していますか。

参加している場合: CC13.1a 参加している制度ごとに、以下の表に詳細を回答してください。

制度名	対象期間	割当量	購入量	認証排出量 (tCO <sub>2</sub> e)	所有権について

“はい” または “現在は参加していないが2年以内に参加する予定” と回答の場合:

CC13.1b 御社が排出量取引制度に参加する際の戦略について回答してください。

CC13.2 御社は報告年内にプロジェクトベースの排出権を創出または購入しましたか。

創出または購入している場合: CC13.2a 詳細を以下の表に回答してください。(2016 質問書 CC13.2a 変更)

創出か購 入か	プロジェク ト種別	プロジェクト名 称	認証基準 名	クレジット量 (tCO <sub>2</sub> e)	クレジット量 (tCO <sub>2</sub> e): リスク 調整後の値	使用済みクレ ジット	実施目的

## 排出量

### CC14. スコープ 3 排出量

CC14.1 スコープ 3 排出量の数値、または御社に関連しないスコープ 3 についてはその旨を回答してください。

**自動車セクターに属する企業は、CC14.1 に回答する前に追加質問をご覧ください。**

スコープ 3 排出量カテゴリー	算定状況	排出量 (tCO2e)	算定方法	排出量算定に用いた一次データの割合	説明
購入した製品・サービス					
資本財					
スコープ1,2 に含まれない燃料及びエネルギー関連活動					
輸送、配送(上流)					
事業から出る廃棄物					
出張					
雇用者の通勤					
リース資産(上流)					
投資					
輸送、配送(下流)					
販売した製品の加工					
販売した製品の使用					
販売した製品の廃棄					
リース資産(下流)					
フランチャイズ					
その他(上流)					
その他(下流)					

CC14.2 スコープ 3 排出量に対する外部検証/保証について回答してください。

スコープ 3 排出量について外部検証/保証を受けている場合:

CC14.2a スコープ 3 排出量の外部検証/保証の詳細を回答し、検証/保証書類を添付してください。

検証/保証サイクル	報告年における検証/保証取得状況	検証/保証の種別	検証/保証書類の添付	該当書類のページ	検証/保証基準	スコープ 3 排出量総量のうち、外部検証/保証を受けている割合(%)

## 排出量

CC14.3 報告年におけるスコープ 3 排出量のうち、前年と比較可能な排出源がありますか。

比較可能な排出源がある場合： CC14.3a 以下の表に詳細を回答してください。

スコープ 3 排出源	変化の理由	変化量 (%)	変化の増減	コメント

CC14.4 GHG 排出量や気候変動戦略に関して、バリューチェーンにおいて協働していますか。当てはまるもの全てを選択してください。

- サプライヤーと協働している
  顧客と協働している  
 バリューチェーンにおけるその他のパートナーと協働している
  協働していない

顧客、またはその他のパートナーと協働している場合：

CC14.4a 協働の手法や協働の優先度合いを決定するための戦略、および成果の測定方法について回答してください。

サプライヤーと協働している場合、

CC14.4b 協働の規模について把握するため、御社が協働しているサプライヤーの数、及び御社の総支出に占めるそのサプライヤーの割合を回答してください。(2016 質問書 CC14.4b および CC14.4c 変更)

協働の種類	サプライヤー数	総支出に占める割合 (%)	協働の影響

協働していない場合：

CC14.4c 排出量や気候変動戦略などについてバリューチェーンと協働していない理由、及び将来協する計画があるかどうか、回答してください。(2016 質問書 CC14.4d)

## Sign Off

CC15.1 本回答を提出するにあたって、最終的な承認を下した人の情報を記載してください。(2016 質問書 CC15.1 変更)

氏名	役職	職種

## サプライチェーン モジュール(追加質問)

### SM0. インTRODクシヨN

SM0.0 必要であれば、サプライチェーン追加質問向けに別途紹介されたい情報を、こちらで開示して下さい。

SM0.1 御社の報告年における年間売上高を回答してください。

売上高	貨幣単位

SM0.2 ISIN コードの提供を希望しますか。

“はい” の場合: SM0.2a ISIN コードを記載してください。

ISIN 国コード(2文字)	ISIN 基本コードとチェックディジット(合計10桁)

## サプライチェーン モジュール(追加質問)

### SM 1. 顧客企業に対する御社の排出量の配分

SM 1.1 報告年内において、御社が下記に掲載されている顧客企業ごとに販売した製品およびサービスの排出量を配分して下さい。

下記の表(SM1.1)は、1列目(“回答を要請しているメンバーを選択”)で御社が選択した顧客企業のみが御社の当該データを閲覧することができます。もし、回答を要請しているメンバーを選択せずに回答された場合、御社の回答をメンバー企業が閲覧することができません。

回答を要請しているメンバーを選択して下さい。	排出量のスコープ	排出量 (t CO <sub>2</sub> e)	不確実性 (± %)	主な排出源	外部検証 <sup>a</sup>	配分方法	GHG源を特定する方法について、活用したプロセスにおける制約や前提条件について説明下さい。
回答を要請企業名							

<sup>1</sup>顧客別に回答いただいたデータは外部検証を受けていますか？

SM 1.2 SM1.1 の回答に際して、公開されている情報に基づいて算出している場合、その情報をご提供ください。

## サプライチェーン モジュール(追加質問)

SM 1.3 顧客企業ごとに排出量を配分する際の課題を記述して下さい。また、その課題を解決するためにどのような方法が役に立ったかを説明して下さい。

排出量を配分する際の課題	課題解決に役立った方法

SM 1.4 将来、顧客企業の排出量を配分するための方法・機能を開発する予定ですか？

“はい”の場合: SM1.4a その方法・機能についてご説明下さい。

“いいえ”の場合: SM1.4b なぜ開発する予定がないのかその理由をご説明下さい。

### SM2. 協働機会

SM2.1 下記の表を使って、特定の CDP サプライチェーンメンバーに対し、GHG 排出削減のためのプロジェクトや製品の共同開発について提案があれば、記述して下さい。

下記の表 ( SM2.1)は、1 列目(“回答を要請しているメンバーを選択”) で御社が選択した顧客企業のみが御社の当該データを閲覧することができます。もし、回答を要請しているメンバーを選択せずに回答された場合、御社の回答をメンバー企業が閲覧することができません。

回答を要請している企業を選択して下さい	プロジェクトのタイプ	排出削減プロジェクトまたは製品の構成	排出削減が顕在化するまでのおおよその時間	CO <sub>2</sub> e 削減期間の試算	提案の詳細
回答を要請企業名					

SM 2.2 CDP サプライチェーンメンバーからの要請やイニシアチブにより、御社の全社的な排出削減活動が促進されるようなことはありましたか？

“はい”の場合: SM 2.2a 全社的な排出削減活動を推進したメンバー企業を選択して下さい。

下記の表 ( SM2.2a)は、1 列目(“回答を要請しているメンバーを選択”) で御社が選択した顧客企業のみが御社の当該データを閲覧することができます。もし、回答を要請しているメンバーを選択せずに回答された場合、御社の回答をメンバー企業が閲覧することができません。

削減活動を促進したメンバー企業を選択して下さい。	活動 ID	削減活動の内容	報告年における排出削減量 (tCO <sub>2</sub> e)	この機会が CDP サプライチェーンアクションエクステンションの一部であることを知っていましたか。	CDP サプライチェーンメンバーが、御社とのこの協働内容について公表してもよいですか。
メンバー企業名					

## サプライチェーン モジュール(追加質問)

### SM3. プロダクト(製品およびサービス)レベルのデータ

SM3.1 御社の製品またはサービスに関するプロダクトレベルのデータを提供していますか。もし提供している場合、どのような手法・機能をデータ提供のために使用していますか？

データに関しては ORS を介して回答して頂くか、エクセルファイルと ORS の組み合わせでも回答いただけます。

プロダクトレベルのデータを提供しているサプライヤー:

SM3.1a 全スコープ排出量(スコープ 1, 2, 3 排出量)に対して、これらのプロダクトがカバーしている総排出量割合を回答してください。

SM3.1 において“エクセル + ORS”を選択された場合:

SM3.2 ご回答頂く製品・サービスのデータについて、以下のテンプレートに沿って作成したエクセルを添付して下さい。

テンプレートは質問 SM3.2a-c (下記参照)を含んでいます。質問 SM3.2d-e については、ORS 経由でご回答ください。

SM3.1 において“ORS”を選択された場合:

SM3.2a ご回答頂く製品・サービスのデータについて、以下の表を完成させてください。

製品・サービス名	製品・サービスの詳細	プロダクトのタイプ	SKU (最少在庫管理単位)	単位当たりの総排出量 (kg CO <sub>2</sub> e)	前年度の数値からの変化 (± %)	前年度の数値データ	変化の理由	ライフサイクル排出量の算定方法

SM3.2b 御社の製品・サービスのライフサイクル・ステージに関するデータについて、以下の表を完成させてください。

製品・サービス名	スコープの選択	ライフサイクル・ステージの選択	ライフサイクル・ステージにおける単位当たりの排出量 (kg CO <sub>2</sub> e)	当該ステージは御社が所有または管理している範囲ですか？	使用したデータの種類	データオリエティ	このプロダクトの排出データについて検証または保証を受けている場合、その方法についてご回答ください。

## サプライチェーン モジュール(追加質問)

SM3.2c 対象となるプロダクトに関して実施済みまたは計画中の排出削減活動の詳細についてご回答ください。

製品・サービス名	活動 ID	活動の詳細	実施済/計画中	単位当たりの排出削減量(kg CO <sub>2</sub> e)

SM3.2d SM 3.2c で回答した削減活動のうち、回答要請のあったメンバー企業によって実施された活動はありますか？

“はい”の場合: SM3.2e 回答要請企業により実施された活動について説明して下さい。

下記の表(SM3.2e)は、1 列目(“回答を要請しているメンバーを選択”)で御社が選択した顧客企業のみが御社の当該データを閲覧することができます。もし、回答を要請しているメンバーを選択せずに回答された場合、御社の回答をメンバー企業が閲覧することができません。

回答要請メンバー	製品・サービス名	活動 ID
メンバー企業名		

### SM4. アクション・エクステンジ

SM4.1 御社は、2017-2018CDP アクション・エクステンジプログラムへの参加を希望されますか？

“はい”の場合、以下の規約に合意ください:

SM4.1a 今年度、御社に対しアクション・エクステンジへの参加を促したメンバー企業をご回答ください。

SM4.1b 次の報告年度において、御社が分析・実施の支援を希望する排出削減活動の種類を選択してください。

SM4.1c アクション・エクステンジの一環として、施設レベルの分析を希望しますか？

SM4.2 御社は、CDP 2016-2017 アクション・エクステンジ プログラムに参加されたサプライヤー様ですか？

“はい”の場合: SM4.2a アクション・エクステンジの結果として、御社では、排出削減プロジェクトどのように前向きに検討されたのかご回答ください。もし、アクション・エクステンジプログラムの実践を通じて、排出削減活動を行うことが出来なかった場合、その理由について 2 項目ご説明ください。

プロジェクトの種類	提案の詳細